

♪直向(ひたむ) きな努力の先に見える夢への扉に向かって

～「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」

◇9月1日(火)、二学期の始業式が行われ、式辞の中で校長先生より次のようなお話がありました。

◇全国定通大会に参加したからこそ見えてきた課題、悔しさから芽生えた意欲を大切にして欲しい。

◇学力⇨能力×努力×指導力：「本気になること」が努力の原動力。

◇一方、怠ける人は常に受け身で、思い通りにいかない理由を自分の努力不足に向けるのではなく、他へ責任転嫁して、不平・不満を言う。

◇自分を磨き、発展・充実の二学期にしていきましょう。

\*式辞全文は、学校HPをご覧ください。(中)



清竹特活主任



藤原生徒指導主任



中島教務主任

\*この夏は、水泳、柔道、陸上で世界大会が開かれました。一生懸命に、何かをやり通したあとの、あの輝いている、美しい顔を目指しましょう。

\*友だちと協力し、思いやりの心をもって、2学期を過ごしましょう。「玄関は学校の顔」、靴を整頓することはお客様さんへの気遣いです。

\*「自分も他人も知らない自分」(ジョハリの未知の窓)に出会えるように、1時間1時間の授業、たくさんの行事の一つ一つを大切にしましょう。



戦後70年平和を考える集い



\*始業式に先立ち、18:10~19:30、市内在住の戦争経験者3名を講師にお招きし、平和を考える集いを開催しました。戦時の体験談を聞くことで平和の尊さや命の重さをあらためて知るとともに、平和は与えられるものではなく、それを守ろうとする主体的な営みや努力がなければ平和は維持できないものであると感じました。(藤)

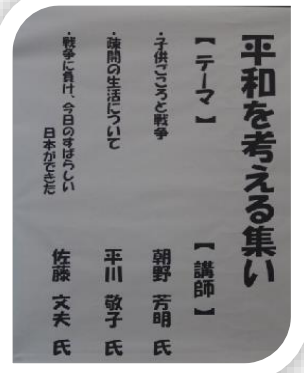


平川 敬子 先生



佐藤 文夫 先生

桑の葉で洋服を作っていたあの時代の生活は二度とご免です。戦争をしない国であり続けるためには国民が賢くなくてはいけません。しっかり勉強し、自分を鍛えてください。



小倉から東峰村に疎開した私はいじめられていましたが、負けませんでした。今ではそのいじめっ子とも友達です。「仲良くなること」が世界平和につながります。



朝野芳明先生

父の戦死通知がきても泣くことが許されなかった時代、母は畑に行き泣いていました。今の繁栄を知らずに戦死した人達の遺志を受け継いで、語り部としてがんばっていくので、若い皆さんも…!